

我が社の得意技 ④ 環境に配慮した地産地消のモノづくり

四国積水工業(株) (水見乙)

「事業活動を通じて地域社会の期待に応え、地元可愛されるモノづくり企業をめざしています」と、四国積水工業(株)の石平貴裕社長は語る。

積水化学グループでは、四国で唯一の生産事業所である同社。エクステリア製品のマザー工場であり、今からさかのぼること半世紀、1964年に硬質塩化ビニール管や家庭用プラスチック製品などの製造販売からスタートしている。

■環境に優しい商品開発
 現在、床材等のエクステリア製品の製造を主力に事業展開している同社では、環境の保護と資源の有効利用に取り組んでおり、リサイクル資源を活用した環境貢献製品に力を注いでいる。

これまでも、戸建住宅用の人工木材「リファール」という製品の製造過程では、リサイクル材を活用するなどして、資源の有効利用を進めてきた

が、2009年に生産を開始した「アシエラウッド」という製品では、主要材料に石炭灰と使用済みレジ袋などの容器包装リサイクル材を使用しており、リサイクル原料が占める割合は約80パーセントにも達している。特に石炭灰については、四国電力(株)西条発電所で生じたものを使用して、地域内での資源の有効利用に貢献している。

この製品の特徴は、一般的な人工木材に比べて水や熱による伸縮変化が少なく、耐久性に優れていることで、学校や公園・デパートなど不特定多数の人が利用する場所の床材として広く利用されるなど、その需要は年々高まりを見せている。

地球規模で資源の枯渇が危惧されている中、リサイクル製品の開発に積極的に挑戦し続ける積水化学グループのよき取り組みは、今後ますます重要性を増すものとなっている。

■地元可愛される

企業をめざして
 同社では、環境に配慮したモノづくりだけではなく、地域に根差した社会貢献活動も数多く行っている。

敷地に隣接する西条西中学校では、1年生を対象とした理科教室を3年前から毎年開催している。暮らしの中で身近にあるプラスチック製品が、どのような性質を持ちどのような方法で造られているのかを説明する実験や講義などのほか、普段は見ることのない生産現場の工場見学も行うている。「将来、この理科教室を受けた生徒が、当社に就職する日が来れば嬉しい」と石平社長は目を輝かせる。

その他にも、近くの幼稚園と合同での避難訓練の実施や、年に2回の清掃活動など、地域に根付いた活動は多い。

四国積水工業(株)は、これからも環境貢献を考え、製品を通じた環境負荷低減を実現しつつ、地域に愛されるモノづくり企業への取り組みを続けていく。

環境・省エネルギー関連産業は、今後の成長分野の一つとして注目されています。

サイクスでは、市内企業が取り組む環境分野をはじめとした成長産業への事業展開に対し、これからも積極的な支援に取り組んでまいります。



写真① 意気込みを語る石平社長
 写真② 四国積水工業(株)の社屋
 写真③ アシエラウッドを使用したデッキ

入居者募集のお知らせ

インキュベータ室・SOHO支援室入居者募集

サイクスでは、インキュベータ室・SOHO支援室に入居する企業や個人を募集しています。

いずれの部屋も24時間利用可能であり、インターネット回線が整備されているほか、あらゆる経営相談にお応えできる環境を用意しています。

■入居資格

○新たに事業化に取り組もうとする方

○新たな事業分野への進出、研究開発に取り組もうとする方

■入居期間

○インキュベータ室

：4年以内

○SOHO支援室：2年以内

■入居決定について

事業計画のヒアリングおよび審査のうえ、入居の可否を決定します。

■申込み・問合せ

部屋の仕様や入居申請など詳細は、産業情報支援センターへお問い合わせください。
 TEL 0897-53-0010